
■ 機械式駐車装置を平面駐車場化する 「スマートデッキ」について

株式会社 GOURIKI コーポレーション

代表取締役社長兼会長 山崎 智博

■はじめに

設置から一定以上の年月が経過し、老朽化した機械式駐車装置(立体駐車場)の修繕や建て替えの費用が捻出できず、対応に苦慮しているマンション等は数多くあります。居住者のライフスタイルや家族構成が変化し、敷地内駐車場の需要減少により空車が生じていることも、維持を困難にしています。そのような機械式駐車装置を撤去し、平置き駐車スペースへと仕様変更するのが弊社「スマートデッキ」(実用新案登録済み)です。



■スマートデッキについて

平置き駐車場への変更は、その方法を誤ればかえって大きなトラブルにもなりかねません。例えば地下に掘り下げた空間を活用する多段式駐車装置の場合、駐車装置を撤去後に残る地下空間を単純に埋め戻すことができない場合も多くあり(土などで埋めると重量オーバーになる)、駐車装置の撤去後、長期に渡り地下に空間(空洞)を抱えたままになります。そこに重量物である自動車を駐車しようとするなら、安全確保はなおさら重要です。弊社が開発した「スマートデッキ」は、土などで埋め戻した場合に比べ、重量は1/50を大きく下回るレベルの負荷で済み、平置き駐車場として1車室あたり2,500kgまでの車両を駐車することができます。

「スマートデッキ」設置にあたり、撤去する既設の機械式駐車装置のメーカーは問いません。事前に現地で測定したデータを基に、弊社専用工場で「設置先専用仕様」として柱・梁・床材等の部材の加工を済ませた状態で施工を行うため、現場では部材の切断・溶接といった加工は一切伴わず、部材をボルト/ナットで締結するだけでスピーディに完成させることができます。この「無溶接・ボルト構造工法」により、解体撤去を含め最短3日間での施工を可能とし、居住者様の生活への影響を最小限に抑えます。加工済みのコンパクトな部材は搬入もしやすく(搬入に関しては重機等も不要)、設置コストの抑制にもつながります。これは同時に、「スマートデッキ」を撤去することになった場合の作業性にも繋がり、将来的な駐車需要の変動にも柔軟な対応が可能です。なお、「スマートデッキ」は日本製の部材を使用しており、主要構造

部は60年以上の耐用年数を有しています。

屋外ばかりでなく、屋内・地下に設置された機械式駐車装置も「スマートデッキ」への置換が可能です。



■おわりに

設置から2年経過時に無償で保守点検を実施します。なお、EV充電装置や防災倉庫の設置、自転車・バイク置き場への転用等も可能で、リースや分割払いプランも用意しています。